

平成22年度事業報告書

(平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日)

平成23年6月15日(水)

財団法人DNP文化振興財団

平成22年度事業報告書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

1 アーカイブ事業

(1) 田中一光アーカイブ

平成22年度は、作品分類を完了しデータベース整備を進行しています。他作家コレクション作品やポスター以外の作品や資料の情報を精査し、DBへの登録を進めています。(総数、約20,000点)

○アーカイブ内訳

①本人作品	ポスター	約2,600点
	版画	約240点
	エディトリアル	約1,800点
	原画類	約90点
	その他(パンフ/V.I.等)	約2,000点
②資料	作品複写写真	約1,500点
	その他資料類	約5,700点
③他作家作品	ポスター・版画等	約2,200点
④蔵書		約4,000点

(2) 福田繁雄ポスターアーカイブ

平成22年度に、福田繁雄氏の寄贈アーカイブの整理ならびにDBへの登録を継続して行ないました。

○アーカイブ内訳

①本人作品	ポスター	約1,500点
	版画	約180点
	その他(クラフト作品等)	約100点
②他作家作品	ポスター・版画	約370点

(3) 永井一正作品アーカイブ

平成22年度に、永井一正氏からポスター作品等の寄贈をうけ、DB整理に着手しました。

○アーカイブ内訳

①本人作品	ポスター	約850点
	版画	約300点
	エディトリアル	約1,120点
	原画類	約140点
	その他(パンフ等)	約560点
②資料	作品ポジ	約490点
	その他資料類	約40点

③他作家作品 ポスター・版画等

約 100 点

④蔵書

約 80 点

(4) ポスターアーカイブ (平成23年3月末現在)

1 収蔵作家: 109 名 (国内作家 70 名 海外作家 39 名)

2 総点数: 約 8,293 点

3 平成22年度の受入れ状況:

伊藤憲治	72 点	(カレンダー/パッケージ等 575 点)
井上嗣也	173 点	
佐藤卓	71 点	
ラルフ・シュライフォーゲル	28 点	
ピエール・メンデル	13 点	

DB 入力作業



DB 画面イメージ

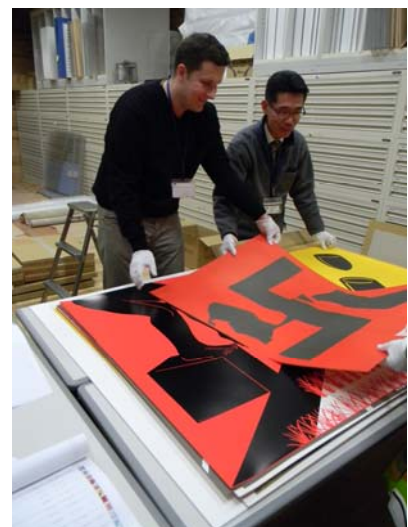
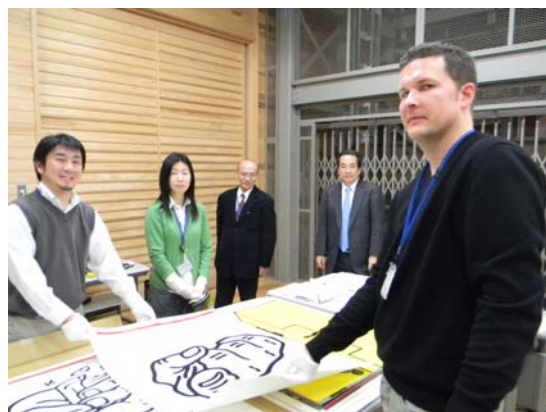


(5) アーカイブ作品寄贈

田中一光アーカイブ、福田繁雄アーカイブ、永井一正アーカイブのパーマネントコレクション以外の作品をセット組みし、海外美術館等に寄贈する事を行ないました。

平成22年度は、スイス・チューリッヒ造形美術館に対して寄贈しました。

また、田中一光氏の故郷、奈良県立美術館に遺族の所有する版画作品を寄贈するサポートを行ないました。



(6) アーカイブ作品の貸出

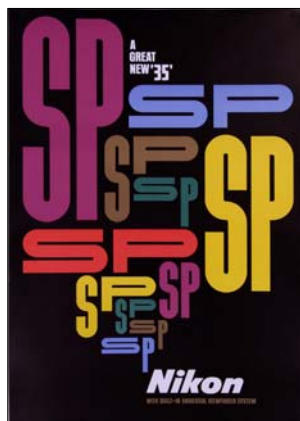
○展覧会名： 20世紀のポスター[タイポグラフィ]

会場： 東京都庭園美術館

会期： 2011年1月29日—3月27日

主催： 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、日本経済新聞社

- 貸出作品：
- ① 亀倉雄策「SP ニコン」 1957年 (1990年再制作版)
 - ② 木村恒久「シネマ・ラセット1980 (ツィゴイネルワイゼン)」 1980年
 - ③ 田中一光「第八回産経観世能」 1961年 (1973年再制作版)



①



②



③

○展覧会名： S0+Z0展「未来をひらく造形の過去と現在 1960s→」

会場： Bunkamura ザ・ミュージアム

会期： 2010年11月12日—2010年11月28日

主催： 学校法人桑沢学園

- 貸出作品：
- ① 青葉益輝「灰皿ではありません」 1971年
 - ② 青葉益輝「火の用心、火の用心、火の用心」 1976年
 - ③ 青葉益輝「ジ・エンド」 1981年
 - ④ 青葉益輝「戦争に使うパンは無い」 1981年
 - ⑤ 青葉益輝「第3回国際デザインコンペティション 作品募集」 1986年
 - ⑥ 青葉益輝「長野オリンピック冬期競技大会」 1994年



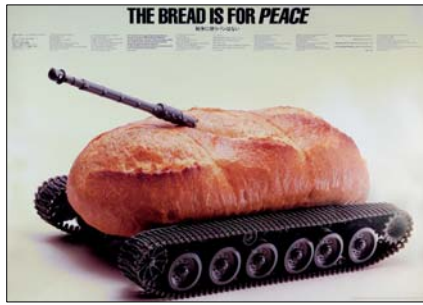
①



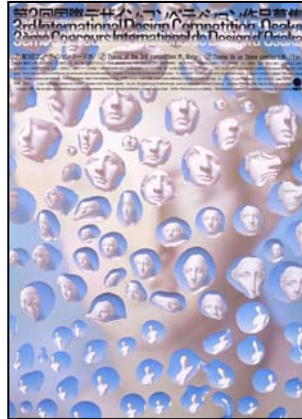
②



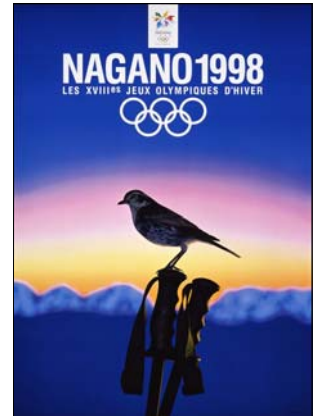
③



④



⑤



⑥

○展覧会名： 木田安彦の世界「三十三間堂」展
会場： 大丸京都大丸ミュージアム
会期： 2010年10月6日—2010年10月18日
主催： 大丸京都
貸出作品： 木田安彦「三十三間堂」2000年

○その他資料等の貸出・提供等

平成22年度中に外部への作品複写写真等の貸出・提供等を7件行ないました。

2 展示事業

(1) ggg(ギンザ・グラフィックギャラリー)の展示

〒104-0061 中央区銀座 7-7-2 DNP 銀座ビル1階、地下1階

日曜・祝祭日休館 11:00a.m.ー7:00p.m.(土曜日は6:00p.m.まで) 入場無料

■第285回 TDC展2010

会期：平成22年4月2日～4月24日

入場者：6487名、一日平均：324名

「東京TDC賞」の、秋の公募に寄せられた3,180作品(国内2,301、海外27カ国+2地域879)の中から、厳正な審査の結果選ばれた「東京TDC賞2010」。この受賞作品10作品をはじめ、ノミネート作品、優秀作品132点を展覧しました。



■第286回 井上嗣也展

TALKING THE DRAGON

会期：平成22年5月7日～5月31日

入場者：4549名、一日平均：216名

展覧会サブタイトルを「TALKING THE DRAGON」とした、井上嗣也氏初めての個展です。「DRAGON」と、「光」をキーワードに、印刷技術を駆使した新作ポスターを発表しました。会期中にgggを開設して以来、100万人目の来場者が訪れ、会場内で記念のセレモニーを開催しました。



■第 287 回 ネヴィル・ブロディ展

会期：平成 22 年 6 月 4 日～6 月 28 日

入場者：3656 名、一日平均：174 名

ネヴィル・ブロディは 30 年間のキャリアを通して革新的タイポグラフィの魅力伝えてきました。最新作、近作にフォーカスすることで、新たにマルチ・ヴィジュアル・デザイナーとしての存在感を表現しました。



■第 288 回 2010ADC展

会期：平成 22 年 7 月 5 日～7 月 29 日

入場者：5353 名、一日平均：255 名

ADC(東京アートディレクターズクラブ)は、1952年の創立以来、日本の広告界を牽引する活動を続けています。ADC賞は、09年5月から10年4月までの1年間に発表されたポスター、新聞・雑誌広告、エディトリアル、パッケージ、CI・マーク&ロゴ、ディスプレイ、TVCMなど、多ジャンルのコンペティションです。gggでは、この審査で選ばれた会員作品の受賞作品、優秀作品を展示しました。



■第 289 回 ラルフ・シュライフォーゲル展

会期：平成 22 年 8 月 4 日～8 月 27 日

入場者：4395 名、一日平均：209 名

スイス、チューリッヒ芸術大学出身である彼の作品は、世界中でコレクションされています。本展では、フィルムポディウムの映画イベントポスター、チューリッヒ・デザインミュージアムの展覧会ポスターなど、最も力を注ぐ文化関連施設のポスターを中心に 40 点を厳選して展示しました。

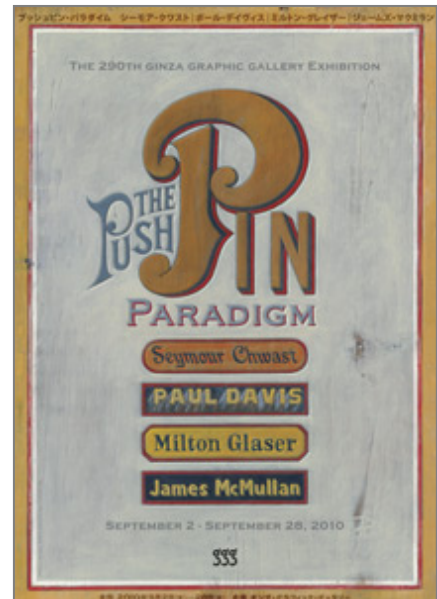


■第 290 回 プッシュピン・パラダイム展

会期：平成 22 年 9 月 2 日～9 月 28 日

入場者：3721 名、一日平均：177 名

プッシュピン・スタジオの主要メンバーの 4 人が、そこでの仕事を通じてどのように影響を受け、各々の道を切り開いていったかを、ニューヨークデザインの黄金時代、1960 年代とその前後に制作されたポスター、原画、雑誌、書籍など 223 点の展示で紹介しました。



■第 291 回 海と山と新村則人展

会期：平成 22 年 10 月 5 日～10 月 28 日

入場者：3464 名、一日平均：173 名

国連が定める「国際生物多様性年」に合わせ「海」と「山」をテーマに、展示構成しました。1階では作家の故郷浮島の風景を壁一面に貼りこみ、地階には、無印良品キャンプ場をはじめとするポスターや押し花作品を展示して自然の豊かさを伝えました。

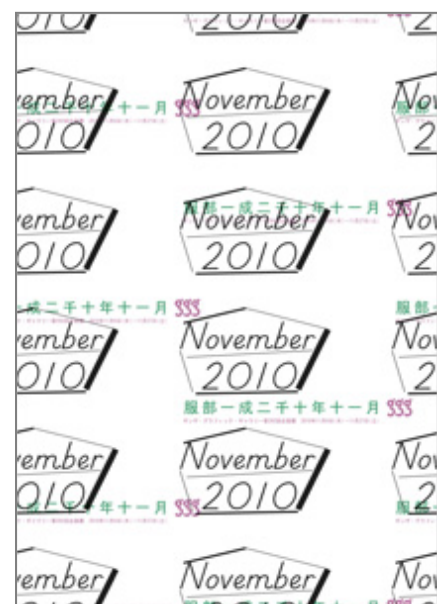


■第 292 回 服部一成二十年十一月展

会期：平成 22 年 11 月 4 日～11 月 27 日

入場者：5612 名、一日平均：281 名

三菱一号館美術館等の CI 作品、東京国立近代美術館等展覧会告知物デザインのほか代表作を展示しました。会場内にベニヤの小屋を設置したり、展示の背景に、ベニヤ板を全面に使用したりして現在も発展を続けている作家自身を表現しました。



■第 293 回 ユーフラテス展

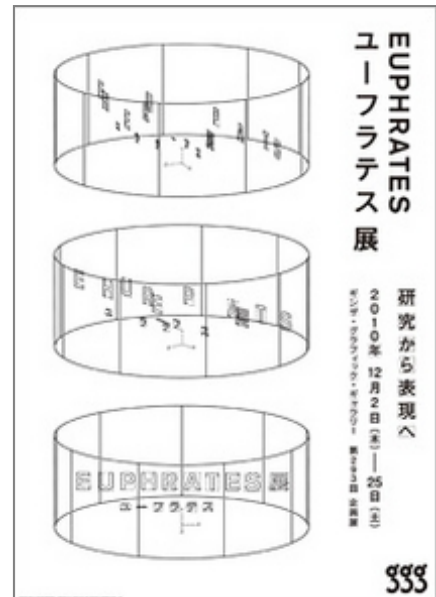
～研究から表現へ～

会期：平成 22 年 12 月 2 日～12 月 25 日

入場者：5730 名、一日平均：287 名

ユーフラテスは、慶應義塾大学佐藤研究室の卒業生が運営するクリエイティブ・グループです。

会社組織でありながら「研究」をメインテーマに活動をつづけ、様々なメディアの新しい表現を生み出しています。彼らの最近の代表作となるNHK映像番組ほか研究から生まれた表現作品を展示しました。



■第 294 回 秀英体100展

会期：平成 23 年 1 月 11 日～2 月 31 日

入場者：4122 名、一日平均：229 名

明治 45 年(1912 年)に誕生した、DNP のオリジナル書体「秀英体」の生誕 100 年を記念する展覧会です。

24 名＋一組のグラフィックデザイナーによる「四季」をテーマに制作された新作ポスターを1階で展示し、地階では活版印刷からデジタル活用まで、時代とともに大きく変化してきた「秀英体」の 100 年を、書籍、ポスター、広告等、さまざまな作品を通して紹介しました。



■第 295 回 イアン・アンダーソン展

ザ・デザイナーズ・リパブリックがトーキョーに帰ってきた

会期：平成 23 年 2 月 4 日～2 月 28 日

入場者：3724 名、一日平均：186 名

活動開始当初のインディーズレーベル関連のアートワーク、そして近年のグローバル企業のための仕事など幅広い作品を紹介しました。本展用にリミックス、リデザインされた大型出力作品を使って迫力のある展示としました。



■第 296 回 デザイン立花文穂展

会期：平成 23 年 3 月 4 日～3 月 28 日

入場者：2543 名、一日平均：212 名

本展のキーワードは「デザイン」と「印刷物」。

デジタル時代に対する反発のように、紙の質感や手作りのぬくもりを伝える立花氏の美学を表現しました。「手」によって作りだされた「紙」の印刷物を、会場全面に設置した特製の展示台に並べて紹介しました。

※東日本大震災による計画停電の影響で休館日、会場時間を一部変更しました。



(2) dddギャラリー(大阪)の展示

〒550-8508 大阪市西区南堀江 1-17-28 なんば SSビル 1 階

11:00a.m. - 7:00p.m. (土曜日は 6:00p.m.まで) 日曜・月曜・祝祭日休館 入場無料



■第 173 回 北川一成展

会期：平成 22 年 3 月 23 日～5 月 12 日

入場者：1920 名、一日平均 58 名

gggからの巡回展。

■第 174 回 TDC展 2010

会期：平成 22 年 5 月 21 日～7 月 3 日

入場者：2666 名、一日平均 83 名

gggからの巡回展。

■第175回 福田繁雄展

会期：平成22年8月3日～9月4日

入場者：2580名、一日平均：74名

gggからの巡回展。



■第176回 2010ADC展

会期：平成22年9月14日～10月30日

入場者：2323名、一日平均：68名

gggからの巡回展。

■第177回 田中一光展

会期：平成22年11月9日～12月22日

入場者：2579名、一日平均 83名

gggからの巡回展。

■第178回 phono/graph展(dddオリジナル企画)

会期：平成23年1月18日～3月9日

入場者：3071名 一日平均 85名

「音楽／音、文字、グラフィックデザイン」をテーマに、藤本由紀夫氏ほか5組のデザイナー、クリエイターの作品を展示しました。

(3) CCGA 現代グラフィックアートセンター(福島)の展示

〒962-0711 福島県須賀川市塩田宮田 1

午前 10:00～午後 5:00(入館は午後 4:45 まで)

一般=300 円/学生=200 円/小学生以下と 65 才以上、障害者手帳をお持ちの方は無料

休館は月曜日(5月4日を除く)、4月30日(木)、5月7日(木)

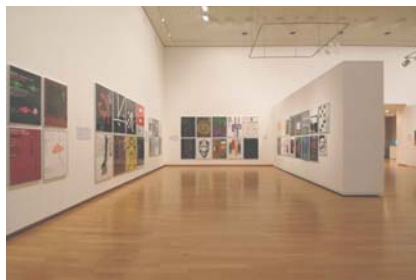
平成 21 年 12 月 24 日(火)～平成 22 年 3 月 5 日(金)は冬期休館

■第 50 回 田中一光展

会期: 平成 22 年 3 月 6 日～6 月 6 日

入場者: 978 名 一日平均 12.5 名

gggからの巡回展



■第 51 回「ロイ・リキテンスタイン:

タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.22

会期: 平成 22 年 6 月 12 日～9 月 12 日

入場者: 488 名 一日平均 11.1 名

タイラーグラフィックス・アーカイブから
ロイ・リキテンスタイン(1923-1997)の
版画ならびに立体マルチプル作品を
37 点展示しました。リキテンスタイン
の個展はCCGAでは16年ぶりの開
催でした。



■第 52 回 福田繁雄展

会期: 平成 22 年 9 月 18 日～12 月 23 日

入場者: 695 名 一日平均 10.7 名

gggからの巡回展



※CCGAは、東日本大震災の影響で

第 53 回展(平成 23 年 3 月 1 日～6 月 5 日)を 3 月 11 日以降休止いたしました。

3 教育・普及事業

(1) ギャラリートーク(セミナー)

展覧会の開催に合わせて16回のギャラリートークを開催しました。

ggg(東京)会場: 11回 856名 / ddd(大阪)会場: 5回 352名

ギャラリートークは、会場のセミナー会議室、展覧会場などを使って、展示作家、キュレーターの方々等に、講演形式、対談形式などでグラフィックデザイン、アートへの思いを語っていただき、グラフィックアート、デザイン文化の普及促進につなげています。

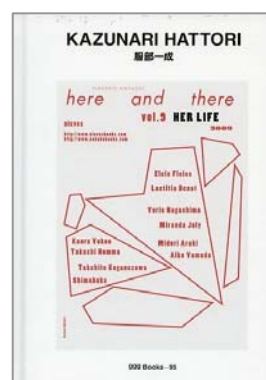


CCGA(福島)では、来館者の希望に応じて無料のギャラリー解説を聞けるサービスを行なっています。



(2) gggBooks

gggBooksを4刊発行いたしました。



『gggBooks -93 ラルフ・シュライフォーゲル』: 本体 1,165 円、1,500 部

『gggBooks -94 新村則人』: 本体 1,165 円、1,500 部

『gggBooks -95 服部一成』: 本体 1,165 円、1,500 部

『gggBooks -96 ザ・デザイナーズ・リパブリック』: 本体 1,165 円、1,500 部

(3) ホームページのリニューアル

ホームページのコンテンツの拡充、展覧会情報のデータベース化、情報更新をしやすいようにリニューアルしました。携帯電話でも展覧会情報が見られるようにサイトを開設しました。



左:トップページ

中:過去の展覧会検索

右:携帯専用サイトデザイン案

(4) 講師・審査員派遣

○平成 23 年 1 月、「第 22 回田善顕彰版画展」(須賀川市商工会議所主催、須賀川市教育委員会後援)に審査員派遣(1名)

※司馬江漢とならんで江戸後期にわが国でもっとも早く油彩画、銅版画の制作を行なった福島県須賀川市出身の画家、亜欧堂田善(あおうどう・でんぜん、1748-1822)を顕彰する小中学生対象の版画公募展

○平成 23 年 2 月、「第 5 回ビジュアルアート大賞展」(学校法人国際アート&デザイン専門学校(郡山市)主催)に審査員派遣(1名)

○平成 22 年 11 月、「全国はがき版画フェスティバル」(須賀川商工会議所主催、須賀川市教育委員会後援)に審査員派遣(1名)

(5) 図録等の発行と頒布

プッシュピン展、ネヴィル・ブロディ展、立花文穂展の開催に合わせて、図録を作成しました。



4 国際交流事業

(1) イタリア、ベニスの展覧会「現代日本のポスター100展」の開催に協力しました。

(2001年から2010年の日本のポスター100点を紹介)

会期: 2010年8月27日～10月20日
会場: ベヴィラックワ・ラ・マーザ財団ギャラリー
(ベニスのサンマルコ広場前)
主催: 国際北斎研究センター(イタリア)
企画協力: 財団法人DNP文化振興財団
(ポスター選定・収集・寄贈など協力)
監修者: 永井一正氏、松永真氏
(ポスター選定、ツールデザイン)

JAGDAの協力でヒロシマ・アピールズ(広島/平和をテーマとした)のポスター特別展示も同時開催されました。



(2) AGI事務局サポートについて

AGIとは、国際グラフィック連盟、アライアンス、グラフィック、インターナショナルの略です。

グラフィックデザイナーが国・文化を越えて興味や友情を分かち合う事を目的に設立され、現在世界 32 カ国、約 350 名の会員で構成されています。

○主なサポート内容

＝AGI 国際本部からのお知らせや情報を要訳し、AGI-JAPAN 会員へ配信しています。

＝日本のデザイン情報および会員情報を、AGI 本部のホームページに掲載することで世界のメンバーに配信しています。

＝総会へ出席しグローバルなグラフィックデザインの動向を把握することと、総会欠席者への概要報告をサポートしています。

＝その他、日本会員と他国会員とのコミュニケーションをサポートしています。

＝平成 23 年度に、日本会員から入会推薦する候補者のリストアップをしました。

5 研究助成事業

○協賛・協力助成

(1) 第 22 回すかがわ国際短編映画祭へ協賛

すかがわ国際短編映画祭実行委員会／須賀川市教育委員会主催、2010/5、30,000 円

(2) 平成 22 年度須賀川地区高等学校美術部研修会への助成

須賀川地区高等学校美術部連盟主催、2010/10、50,000 円

(3) 「版で発信する作家たち 2010」展へ協賛

版で発信する作家たち展実行委員会主催、2010/9、60,000 円

(4) 第 22 回田善顕彰版画展へ協賛

須賀川商工会議所青年部／須賀川市教育委員会後援、2011/2、30,000 円

○会員参加

事業目的にふさわしい以下の団体の会員となっています。

(1) 東京イラストレーターズ・ソサイエティ

賛助会員

(2) 東京アートディレクターズクラブ

賛助会員

(3) 社団法人日本グラフィックデザイナー協会

賛助会員

(4) 東京タイプディレクターズクラブ

会員

6 収益事業

(1) CCGA 来館者内訳および入館料

※CCGA 入館料は、決算報告上、展示事業収益の中に計上しております。

内訳

一般 @300 円 × 902 名 270,600 円

一般(特別割引) @200 円 × 2 名 400 円

学生 @200 円 × 254 名 50,800 円

合計 321,800 円

(2) CCGA サロン利用料 @200 円 × 125 名 25,000 円

(3) その他収入 13,840 円

缶飲料自動販売機コミッション料 他

以上